

## 【内科領域】

東京女子医科大学病院の内科系後期研修プログラムは、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、呼吸器内科、腎臓内科、血液内科、高血圧・内分泌内科、糖尿病・代謝内科、膠原病リウマチ内科、総合診療科がそれぞれに募集している。

これまで、現在の内科系の各サブスペシャリティ専門医は、多くの場合認定内科医を取得後に、各サブスペシャリティの学会が認定する施設において 3-4 年の研修を経て、各学会が個別に実施する専門医試験の受験資格が認められてきた認定内科医試験は

2020 年に終了しており、今後は認定内科医もしくは内科専門医から各サブスペシャリティ専門医をめざす後期研修プログラムで研修することが可能である。

また、認定内科医、内科専門医取得後、サブスペシャリティ研修とともに内科研修を継続することで総合内科専門医の取得が可能である。

当院の内科系診療科はすべて各学会の研修指定施設であり、関連病院もそのほとんどが研修指定病院になっている。初期研修で内科専門医取得のための経験症例が足りない場合には、後期臨床研修医として各診療科に入局後、初年度の後期（10 月から翌年 3 月）に希望内科をローテーションできるシステムを提供している。また、各診療科所属の後期臨床研修医は、内科系救急疾患の研修を EmD (Emergency medical division) に一定期間出向して研鑽する。さらに各診療科では、正確な医療記録の記載や症例報告などの学術発表や論文投稿の指導がなされ、興味があれば基礎研究や臨床研究など大学病院での研修でなければ得られない貴重なプログラムを数多く提供している。

以上のように、当院の内科系後期研修プログラムは、内科系後期研修医の共通の目的である専門医取得を目指しながらも、総合診療や救急診療の研修、学会活動をはじめとする研究活動も並行して行うことができる大学病院ならではの機能を生かし、そして、新専門医制度にも十分に対応できる研修プログラムである。

## 【外科領域】

外科領域の研修は、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、消化器・一般外科（上部消化管外科・下部消化管外科・炎症性腸疾患外科・肝胆膵外科）、小児外科、救急医療科、東医療センター外科、八千代医療センター外科の 8 診療科の協力のもとで行われている。専攻医は、複数の診療科をローテーションすることにより専門領域の診療のみではなく、外科医として広く一般診療を行う能力を養成する。初期臨床研修で習得した外科の基礎的知識や検査・画像診断についても確認しながら、さらに高度な知識や判断能力を身に着けるよう個別にカリキュラムが設定され、履修項目の達成度が評価される。研修プログラム期間内に、日本外科学会

外科専門医資格取得のための修練カリキュラムに定められたすべての研修を受けることができる。

当院では、それぞれの診療科が内視鏡手術や画像診断ナビゲーション手術などの専門性の高い先進的医療を行っており、実際の指導を各領域の専門医あるいは指導医が担当するため、質の高い指導が行われる。優れた一般臨床医を養成し、さらに将来の外科治療を牽引する医師を養成することを目的としており、後期臨床研修プログラムはその基礎となる研修プログラムとして位置付けられる。外科手技だけではなく検査、画像診断、麻酔手技、周術期の全身管理の基礎も習得する機会が設けられ、多彩な合併症をもつ患者の診療や救急疾患の診療を通じて、感染対策や医療安全の基礎的能力を培うことができる。さらに、チーム医療へ参画して治療方針決定の一翼を担い、インフォームド・コンセントを通じて良好な患者医師関係を築き、患者背景に配慮した安全な外科治療の提供できる能力を身に付けることを目標とする。また、臨床研究や症例発表などについても各診療科で指導が行われ、随時学術集会等で発表する機会が与えられる。

当院では、後期臨床研修プログラム終了後も継続して一貫した研修を受けることができる。研修の詳細については各科の案内も参照されたい。

### 【がん領域】

内科系、外科系の基本領域の学会<sup>1</sup>の認定医あるいは専門医資格に引き続き、サブスペシャリティとして、がん領域の専門医資格<sup>2</sup>も取得希望する研修医には、専門医資格の取得に向けたフレキシブルな臨床研修を行う。

東京女子医科大学病院は、基本領域の学会のみならず、がん領域の学会・機構の施設認定も受けており、各学会の指導医・教育医が数多く在籍している。研修医は院内のいかなる診療科に属していても、基本領域の学会の認定医・専門医資格を取得した後に、がん関連診療科をローテーションすることで、がん領域の専門医資格に必要な臨床研修を効率良く行うことができる。

ローテーションの時期と期間、研修内容については、研修医の臨床経験に応じて、所属診療科の診療部長とローテーション先の診療部長との協議により決定されるが、ローテーション中も研修医の所属先は本来の診療科とする。また専門医資格の取得後は、所属診療科のみならず、がんセンターなど横断的な立場からも、当院のがん医療・がん研究に積極的に参加することが望ましい。

1. 日本内科学会、日本皮膚科学会、日本外科学会、日本産科婦人科学会、日本耳鼻咽喉科学会、日本脳神経外科学会、日本麻酔科学会、日本形成外科学会、日本小児科学会、日本精神神経学会、日本整形外科学会、日本眼科学会、日本泌尿器科学会、日本医学放射線学会

の 14 学会

2. 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医  
日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医  
日本緩和医療学会 緩和医療専門医